

平成28年度のがん検診の実施状況について

平成28年度の受診率（70歳未満）は50.9%、前年度比1.4ポイント増加しました。

福井県では、平成25年度に「第2次福井県がん対策推進計画」を策定し、がん予防・早期発見・治療日本一を目指して、平成29年度までにはがん検診受診率50%超を目標にしています。

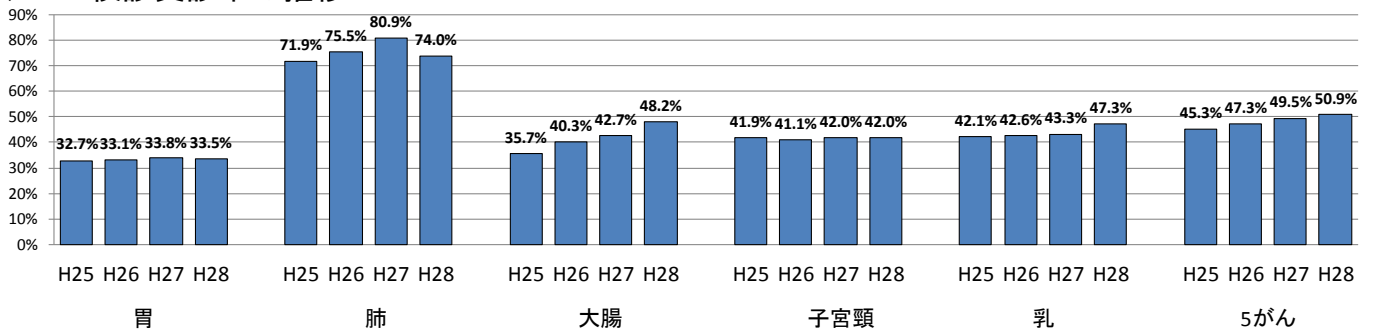
平成28年度のがん検診（胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん）の受診率（70歳未満）は、**50.9%**で、前年度から**1.4ポイント**増加しました。

がん種別の受診率は、**胃がん33.5%**、**肺がん74.0%**、**大腸がん48.2%**、**子宮頸がん42.0%**、**乳がん47.3%**となっており、前年度と比較すると、大腸がん、乳がんの受診率が大きく上昇しました。

◆平成28年度がん検診受診者数と受診率

がん種	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん	5がん計
受診者数（人）	71,749	234,925	153,075	99,388	75,535	633,172
受診率	33.5%	74.0%	48.2%	42.0%	47.3%	50.9%

◆がん検診受診率の推移



※この受診率は、県内の市町と職域を合わせた全数調査により、福井県が独自に算定。

※子宮頸がん、乳がんは市町・職域検診とも隔年受診が原則であるため、当該年度および前年度の2年間の受診者数を基に受診率を算定した。

がん検診受診率が上昇した要因としては、市町・検診機関・医師会の協力により個別検診機関が増加したこと、検診機関による検診未実施事業所への受診勧奨や出前検診の拡充など、働く世代への働きかけを強化したことが考えられます。

また、有名人のがん告白が相次いで大きく報道されたことによって、県民のがん検診の受診意識が向上したことも要因の1つと考えられます。

今後も、休日および平日夕方のレディースがん検診に取り組むなど、がん検診を受診しやすい環境づくりに努め、受診率の維持・向上を図ります。

(参考)

○平成28年度から、胃がん検診の対象年齢が変更となりました。

国の「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」の一部改正（H28.2.4改正）により、平成28年度から胃がん検診の対象年齢が変更となり、これに併せて、胃がん検診受診率算定の分母となる対象者数が下表のとおり変更となりました。

		平成27年度	平成28年度
対象年齢		40歳～69歳	50歳～69歳
対象者数	胃がん	317,438人	214,349人
	5がん計	1,348,784人	1,245,695人

対象者：平成27年国勢調査より算出

